



ほんものを たべよう

提出日
11/ 火 水 木 金 土
13 14 15 16

配達日
11/ 火 水 木 金 土
20 21 22 23

翌々週分配達日
11/ 火 水 木 金 土
27 28 29 30

Alter Weekly Order Catalogue

2012.11月4週号

オルターの提案

本当に安全な食べものを手渡すために

- 「だれが・どこで・どのように作ったか」の情報を日本一公開します。
- 「国産」「無農薬」にこだわり、日本の伝統食を守ります。
- 原料段階・飼育段階からポストハーベスト農薬、遺伝子組み換え、放射能汚染、トランス脂肪酸、食品添加物などを徹底的に追放します。
- プラスチック容器・レトルト食品を追放します。

りんご APPLE

葉から作るおいしいりんご

毒性が弱い、残存効力の短い農薬を最少限度に使用して、減農薬栽培をしています。

津軽産直組合(青森県)

文責 西川 榮郎 (NPO 安全な食べものネットワーク オルター 代表)



斉藤 武雄さん

りんご園の土はフカフカ

青森県では、全国のりんごの生産量の50%以上のりんごを栽培しています。そのりんごの本場で、津軽産直組合の斉藤 武雄代表ら40世帯は有機質肥料、減農薬栽培でりんご作りをしています。

津軽産直組合のりんごはおいしいりんごです。その訳は、りんごの樹の葉にあります。他のりんご園の葉が不揃いで元気がないのに対して、津軽産直組合のりんごの葉は、実によく揃っていて、葉に丸みがあり葉肉が厚く、硬く、葉脈もきっちりしています。

土もよく肥えていて、除草剤も使いません。除草は草刈機での年5~6回の除草なのです。刈った草は樹の下に草抑えや有機肥料として還元します。

りんご栽培の基本は土作りです。堆肥(リンゴジュースの搾りかすなど)を10aあたり1t以上、さらに有機石灰(焼成かき殻)や天然苦土、アミノ酸配合肥料(有機100%・魚液)を施肥しています。土壌分析を、担当の

斉藤 篤寿さんが年2~3回行い、りんごの生育をよく観察しています。土壌pHを一定(pH 6.5弱酸性)にし、土壌の有効微生物を増殖させ、地力を高い状態にしています。ミズや微生物によってりんご園の土はフカフカです。そうすることによって、りんごの根(とくに細根)の発育が非常に旺盛になり、病害虫への抵抗性も強くなるのです。

農薬は一般栽培(青森県36カウント、長野県38カウント)の半分以下の18カウント以下(6回)にし、しかも極力毒性の弱い、残存効力の短い農薬を選んで、病害虫が発生したらやむを得ず必要最少限に散布しています。もう少し少なくて済む自信があるとのこと。

オルターへの出荷は、津軽産直組合のメンバーの中でも農薬使用量が最も少ない生産者、斉藤 武雄代表、斉藤 篤寿さん、斉藤 充弘さんの3名に現在のところ限定しています。この3名の農薬使用量は12~13カウント(4回)です。

いくつもの失敗を乗り越えて

代表の斉藤 武雄さんは、若い頃親元を離れて、東京で農業関係の出版社に勤めておられました。そこで、当時盛んだった電子農法に出会い、それに魅力を感じて、帰郷してりんご作りに取り組みました。それから7~8年後、電子農法に限界を感じ、有機農業へ転じました。青森県の有機農業によるりんご作りの草分けの一人です。

いつしか仲間も拡がっていったのですが、失敗続きだった当初の頃の仲間の多くは挫折してしまいました。木が枯れて死んでいくのが一番の苦労だったとのこと。栽培に自信がついたのは、13年くらい前のことです。現在、津軽産直組合の仲間は40世帯、平均年齢が40歳台の頼もしい中堅です。



津軽産直組合の減農薬りんご

●オルターへ現在出荷いただいている生産者

斉藤 武雄、斉藤 篤寿、斉藤 充弘

●その他、津軽産直組合のメンバー

今後農薬を減らす努力をお願いしている生産者

大坂 隆典	木村 修進	太田 稔
斉藤 靖裕	金田 新弥	小笠原 秀一
新谷 敏広	三浦 正志	安部 文保
新谷 勝義	斉藤 正志	安部 正勝
新谷 勝彦	西村 茂	小林 秀造
新谷 金治	赤石 健三	小林 史昭
斉藤 栄造	赤石 栄一	斉藤 康児
成田 正行	堀場 高宏	斉藤 信一
今 根 彦	斉藤 貢	須藤 大
佐々木 光則	伊藤 芳仁	宮崎 敏治
品川 一彦	木村 誠	宮崎 尚彦

●栽培品種

つがる、千秋、北斗、ジョナゴールド、むつ、王林、ふじ、紅玉



●栽培の特徴

●減農薬栽培(オルター基準 ◆)

●有機質肥料
グロノリン酸(海鳥リン酸)
ハーモニシエル(貝殻)
古代天然苦土
SRG(米糠)
オーガニック8-5-3(魚液)
発酵鶏糞
りんご搾り粕堆肥

●無袋栽培

一部の品種(千秋のみ)を除き、無袋栽培です。太陽の光を十分に当てています。無理に葉を摘んだり、反射シートで着色をよくする外観重視のりんご作りをしていません。

●適期収穫

りんごはなっている場所によって熟期がかなり違います。収穫は熟れた実から順に収穫します。味のいいりんご作りを徹底しています。

●冷蔵貯蔵

収穫したらただちに自前の大型冷蔵庫(20kg箱で18,000箱)に保管します。注文に応じて出荷します。

●慣行栽培の病害虫防除

津軽産直組合の栽培		慣行栽培	
撒布時期	撒布資材	対象病害虫	基準薬剤
4月上旬(ふじ芽出)		モニリア病 フラン病	マシン油 ベフラン
4月下旬(芽出10日後)	ベフラン マシン油	モニリア病 黒星病	ユニックス
5月上旬(落花直前)	インダーフロアブル アダブロンSC	黒星病・うどんこ病 斑点落葉病・ミダレカクモンハマキ	アンピルフロアブル ロムダンフロアブル
5月中旬~下旬(落花直後)	オンリーワンフロアブル アダブロンSC	黒星病・斑点落葉病 うどんこ病・ミダレカクモンハマキ	スコア カスケード
6月上旬 →6月中旬	スコア バリアード	黒星病・斑点落葉病 うどんこ病・コナカイガラムシ すす点・すす斑病・コナカイガラムシ	クレミクス・パールノックスフロアブル スプラサイド エルサン
6月下旬 →7月上旬	アントラコール サイハロン	黒星病・斑点落葉病 すす点・すす斑病・ハダニ類 斑点落葉病・炭素病 ハダニ類・モモンクイガ	有機銅・テルスター パロックフロアブル アントラコール モスピラン
7月中旬 →7月下旬	キノンドーフロアブル モスピラン	斑点落葉病・炭素病 ハダニ類・腐らん病 斑点落葉病・炭素病・ハダニ類 コナカイガラムシ・ギンモンハモグリガ	有機銅・トップジンM ダイアジノン アリエッティC・マイクロデナボン カルシウム剤
8月上旬	フリントフロアブル バイスロイドEW/コロマイト	斑点落葉病・炭素病・ハダニ類 モモンクイガ・ギンモンハモグリガ	ダイパワー・ダースバン カルシウム剤
8月中旬→8月下旬	ストロビードライフロアブル ロディ	斑点落葉病・ハダニ類 ギンモンハモグリガ 黒星病・斑点落葉病・すす点・すす斑病 ハダニ類・モモンクイガ・シャクトリムシ類	ストロビードライフロアブル ロディ ダントツ・コロマイト・カルシウム剤

市販のりんごの問題点

拙著「あなたのいのちを守る食べもの百科」P60をご参照ください。

P 6 で、津軽産直組合の減農薬りんごをご紹介します。